

学校だより

1月号（巻頭言）



嶺 鶴

令和8年1月8日
大田区南久が原 2-17-1
電話 (3750)2260
FAX (3750)2280

建設の槌音に寄せて

大田区立東調布第三小学校

校長 並木 昭

年頭にあたり、本校と縁するすべての皆様の御健康と御多幸を心よりお祈り申し上げます。

澄み渡る青空に、本校の改築を担うタワークレーンが凜としてそびえ立っています。その勇姿に、畏敬の念が込み上げてまいります。寒風が吹きすさぶ中、職人は黙々と鉄骨を組み、コンクリートを流し込んでいきます。彼らの背中は、言葉以上の「責任」を雄弁に語ります。

教育もまた、間断なき建設の営みと言えます。設計図や工程表の見直しを余儀なくされるようなこともあります。雨に打たれ、泥にまみれ、それでも携わる者たちは、こどもたちの未来のために、一つ一つ建材を積み上げるような作業を続けます。

翻って、今の社会を見渡しますと、汗をかいて塔を建てる者よりも、塔の形や色を遠巻きに論じる者の声のほうが大きく響くことが時としてあるように感じます。

安全な場所から「あそこが歪んでいる」「手際が悪い」と指摘することは、知的なようで、実は最も安易な振る舞いです。なぜなら、どれほど精緻な批評を積み重ねようとも、それだけでは鉄骨一本、パネル一枚すら持ち上げることができないからです。

私たち大人がこどもたちに見せるべきは、高みから論評する批評家の姿ではなく、不格好でも額に汗して現場を動かす当事者の姿です。

新しい校舎が、そこに携わる人々の熱意と労苦によって完成に向かっています。これからも、学校と家庭・地域が、互いに建設者として手を携え、こどもたちの幸せに向かって共に取り組んでいくことを切に願っております。

本年も、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。